

2025年9月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第249号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2025年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆第3回セミナー開催について

【開催日時】2025年10月28日（火）午後から開催

【開催方法】オンライン（Zoom Webinar）開催

詳細は決まり次第、メルマガ・HPでお知らせいたします。

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

★東海農政局 消費生活課からのお知らせ

・東海農政局は東海学院大学健康福祉学部医療栄養学科と連携し「イオンモールのSDGsフェス」に出展

東海農政局は東海学院大学健康福祉学部医療栄養学科と連携し、イオンモール各務原インター店が開催するイベント「イオンモールのSDGsフェス」に出展します。

指先一つの簡単な検査で普段どれだけ野菜を摂取しているかを測定できる「野菜の摂取量を測定！」コーナーや管理栄養士による栄養相談も受けられる「いつも食べている食事の栄養バランス診断」など、楽しみながら食生活を見直すコンテンツに加え、フードドライブも併せて実施します。

お中元や買いすぎて消費する予定のない食品があればぜひお持ちください。お持ちいただいた

た食品は社会福祉法人各務原市社会福祉協議会を通じて、こども食堂等にお届けします。

（注）フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、まとめてフードバンク活動団体や地域の福祉施設などへ寄付する活動です。

＜日時＞

令和7年9月20日（土）10時00分～17時00分（最終受付16時30分）

令和7年9月21日（日）9時30分～16時30分（最終受付16時00分）

＜場所＞イオンモール各務原インター店 1F ノースコート（岐阜県各務原市那加萱場町3-8）

＜参加費＞ 無料

各コーナーの詳細はこちら▼

「野菜の摂取量を測定！」

https://www.aeon.jp/sc/kakamigahara/event/event_e61540_as.html（外部リンク）

「いつも食べている食事の栄養バランス診断」

https://www.aeon.jp/sc/kakamigahara/event/event_e61538_as.html（外部リンク）

「なくそう食品ロス「もったいない」から「ありがとう」へフードドライブ実施」

https://www.aeon.jp/sc/kakamigahara/event/event_e61537_as.html（外部リンク）

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

【農林水産省からのお知らせ】

・「ノウフク・アワード 2025」募集開始

農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）は、農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰する「ノウフク・アワード 2025」の募集を開始します。

農林水産業と福祉等の多様な人材が連携し、障害者等が農林水産分野で能力を発揮することによって、農林水産分野と福祉分野が抱える様々な課題の解決、障害者等の社会参画、農林水産業の維持・発展や地域活性化の実現に貢献している団体等を対象とします。

自薦も可能ですので、農福連携に取り組んでいる方々はぜひご応募ください。

＜募集期間＞ 令和 7 年 8 月 4 日（月）から令和 7 年 9 月 30 日（火）まで

詳細はこちら▼

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/250804.html>

特設ウェブサイト▼

<https://noufuku.jp/award/award2025/>（外部リンク）

・あなたのサステナブルな取組を国内外に発信しませんか？～「サステナアワード 2025」募集開始～

農林水産省は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、「みどりの食料システム戦略」を推進しています。その一環で、消費者庁、環境省と連携し、「あふの環（わ）2030 プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトにおいて、食や農林水産業に関わるサステナブルな取組動画を表彰する「サステナアワード 2025」の募集を開始します。

＜募集期間＞ 令和 7 年 8 月 1 日（金）から 10 月 31 日（金）まで

詳細はこちら▼

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/250801.html

.....

4. 2024 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆環境省（執行団体：一般社団法人日本有機資源協会）：「令和 7 年度脱炭素型循環経済システム構築促進事業（うち、プラスチック等資源循環システム構築実証事業）（三次公募）」

☆JST：「令和 8 年度 国際科学技術共同研究推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」

■民間等

☆うま味研究会：「第 32 回うま味研究会助成」

☆公益社団法人日本農芸化学会：「第 23 回農芸化学研究企画賞」

2025 年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

5. その他の情報

(1) 新技術情報

☆作物関係

作物の生育状態が一目でわかる！ ー生育予測技術を開発（AgriLook 愛知県版ー
開発の背景・ニーズ

作物の栽培管理作業は生育ステージに合わせて行いますが、近年の温暖化等により、作物の生育進捗が大きく変化し、適正な栽培管理作業時期が変動しています。そこで、作物の生育ステージを高精度に予測するために、これまでの予測技術の改良と新たな予測技術の開発に取り組みました。

成果の内容

・過去数年の栽培データ・気温・日長から、作物や品種ごとに把握したい生育ステージを予測する技術を開発しました。・既に開発されていた技術の内、18 個は現地で予測精度の

検証を重ね、7 個は夏季の異常高温や暖冬に対応できるように改良し、予測精度が向上しました。

・新たな品種に対応するため、予測技術として新たに 7 個開発しました。

・開発した 25 個の技術は、JA あいち経済連、名古屋大学との共同研究で、毎日更新されるメッシュ気象データと組み合わせて栽培管理支援ツール（AgriLook 愛知県版※）としてシステム化し、指導員が生産現場でスマホ等で簡単に閲覧できるようしました。

AgriLook 愛知県版：現場指導員向けツールであり、生産者が直接使う物ではありません。

・愛知県農業総合試験場 HP:2024 年愛知県農業総合試験場の 10 大成果

<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>

☆園芸関係

「試交 17-22」で高品質なナスをいっぱい穫ろう！

ーナス新品種「試交 17-22」の栽培技術を確立ー

2021 年に多収性で漬物加工適性の高い単為結果性とげなしナス 「試交 17-22」

(2021. 11. 29 登録出願)を本場で開発し、2023 年より 本格的に栽培が開始されています
産地から品質の良さが評価された一方、従来品種と同様の管理方法で栽培したところ、
暖候期のつや無し果の発生や 2 月までの収量の伸び悩みが課題に挙げられました。

これらの課題を克服する技術確立に取り組み、栽培指針を作成しました。

ーナス新品種「試交 17-22」の栽培技術を確立ー

剪定、かん水、摘葉について有効な管理方法を明らかにしました。

(1)剪定方法：こまめな剪定（1 芽切り戻し）の徹底

(2)かん水方法：少量多頻度のかん水

(3)摘葉方法：葉の摘葉は遅めにし、多くの葉を付けておく

これらの管理方法や品種の特性をまとめ、促成栽培向けナス「試交 17-22」の栽培指針
を作成しました。

・愛知県農業総合試験場 HP:2024 年愛知県農業総合試験場の 10 大成果

<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>

.....
.

編集後記

9 月に入りましたが、まだまだ厳しい暑さが続いております。農林水産物への被害が報道
されており、今後の収穫量の減少や価格高騰への影響が懸念されるところです。また、体
調の管理や食中毒にも気を付けて元気に頑張りましょう。

さて、10 月 28 日（火）に第 3 回セミナーをオンライン開催します。テーマ、講演者、演
題等については決まり次第、メルマガ・HP でお知らせをいたしますので、第 2 回セミナー
同様に奮ってご参加ください。また、アグリビジネス創出フェア in 東海を 12 月 10～11 日
に開催します。これらイベントを通じて、多くの情報を得ていただければ幸いです。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052?789?4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp （*を@に書き換えてください）

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>